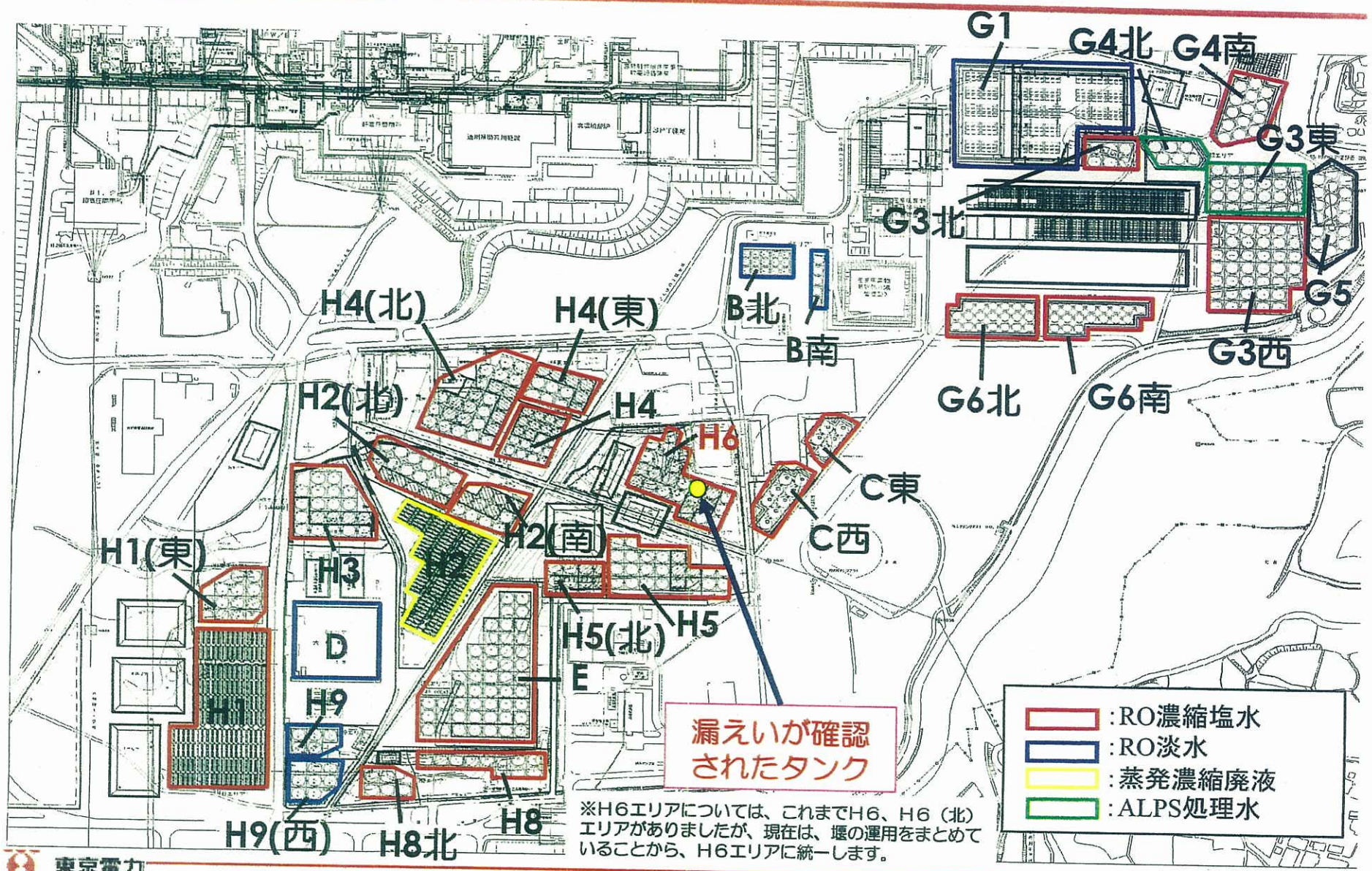
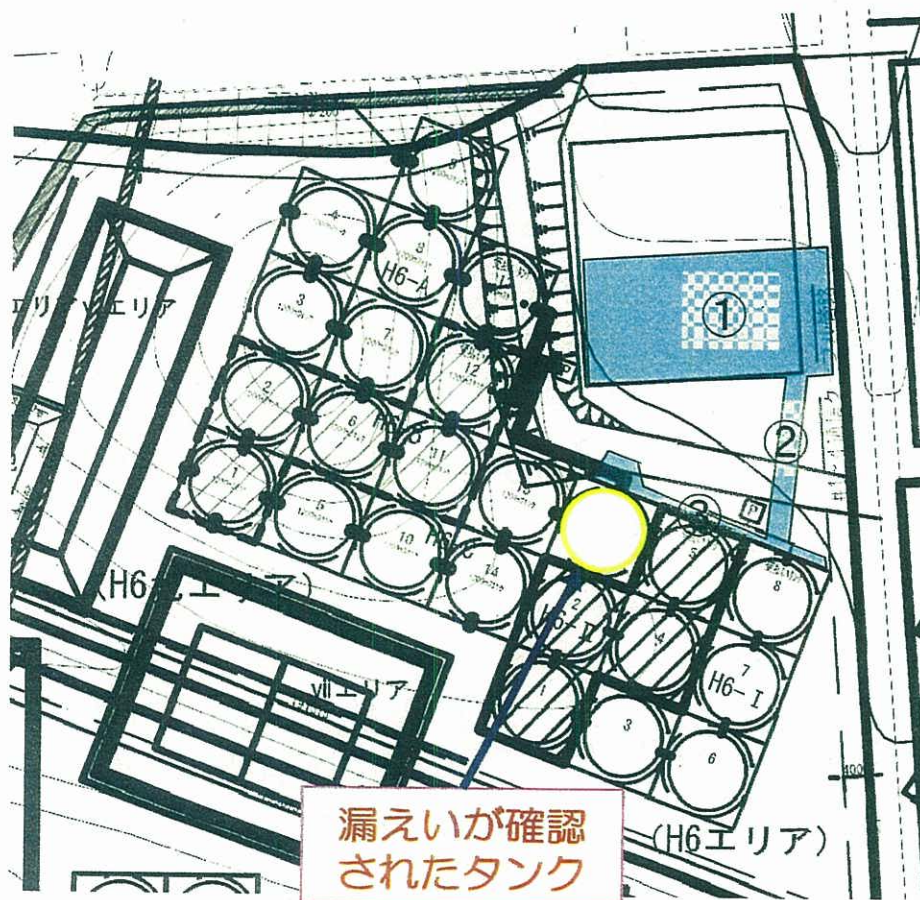


タンクエリア配置図



漏えい量および漏えいの範囲

- 堰の外へ流れた漏えい水
 - ①淡水化装置（蒸発濃縮）の装置エリア
 - ②電気ケーブルが収納されているU字溝
 - ③H6（北）タンクエリア～H6タンクエリア堰近傍
- 堰の内側に留まっている漏えい水



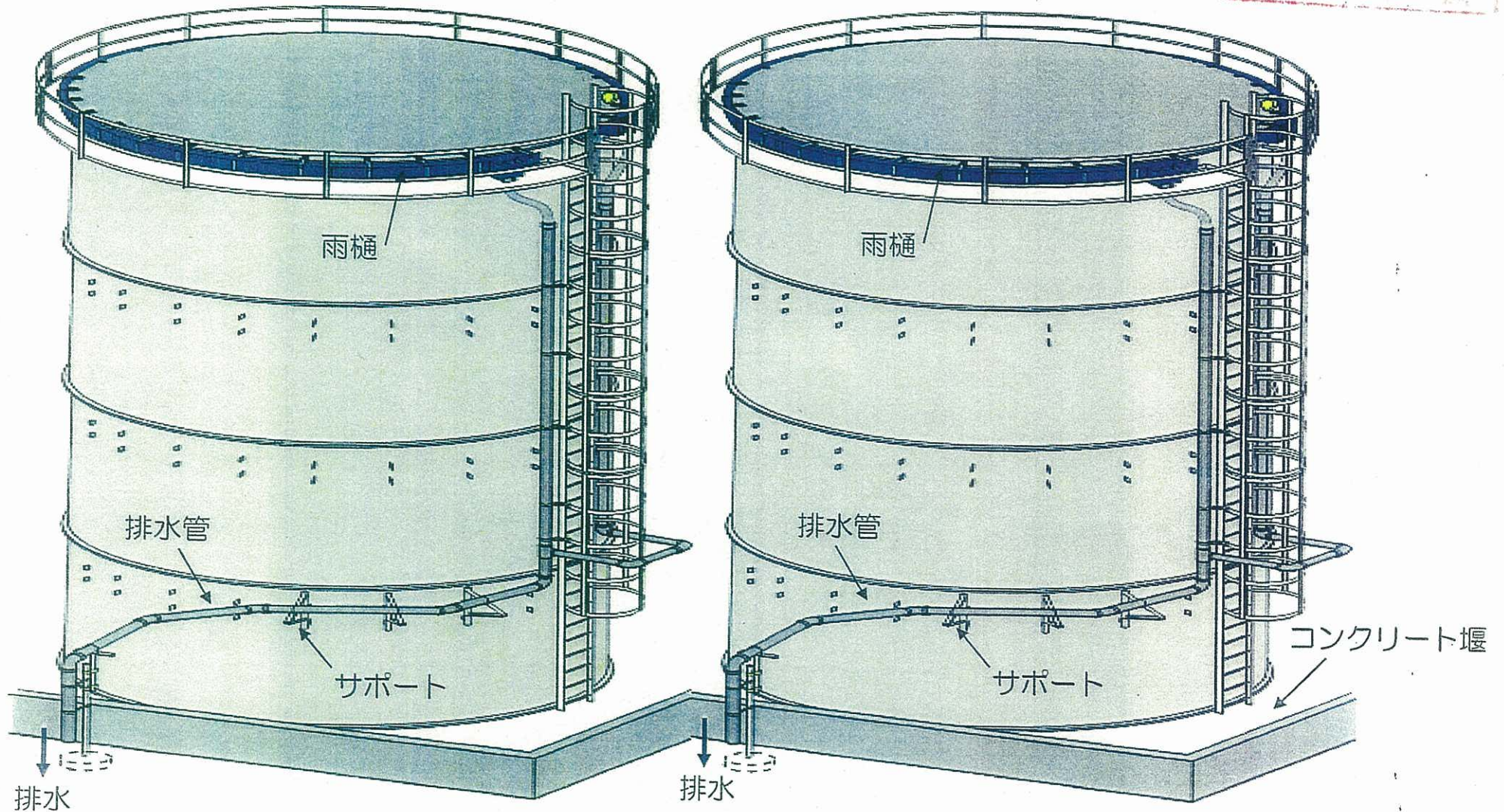
漏えいの状況 (①エリア)



漏えいの状況 (③エリア)

具体的な雨水抑制対策イメージ

本資料は、東京電力株式会社から提供された資料であり、
その内容の正確性を保証するものではありません。
また、本資料は、特定の状況や条件に限定して作成されたものであり、
他の状況や条件に適用されるものではありません。
ご了承ください。



土堰堤





本管は、電力局の管線であり、その管線に
他の物の接続や、管線が破損する恐れ
があるため、この管線に接続する行為
を禁止します。
電力局株式会社

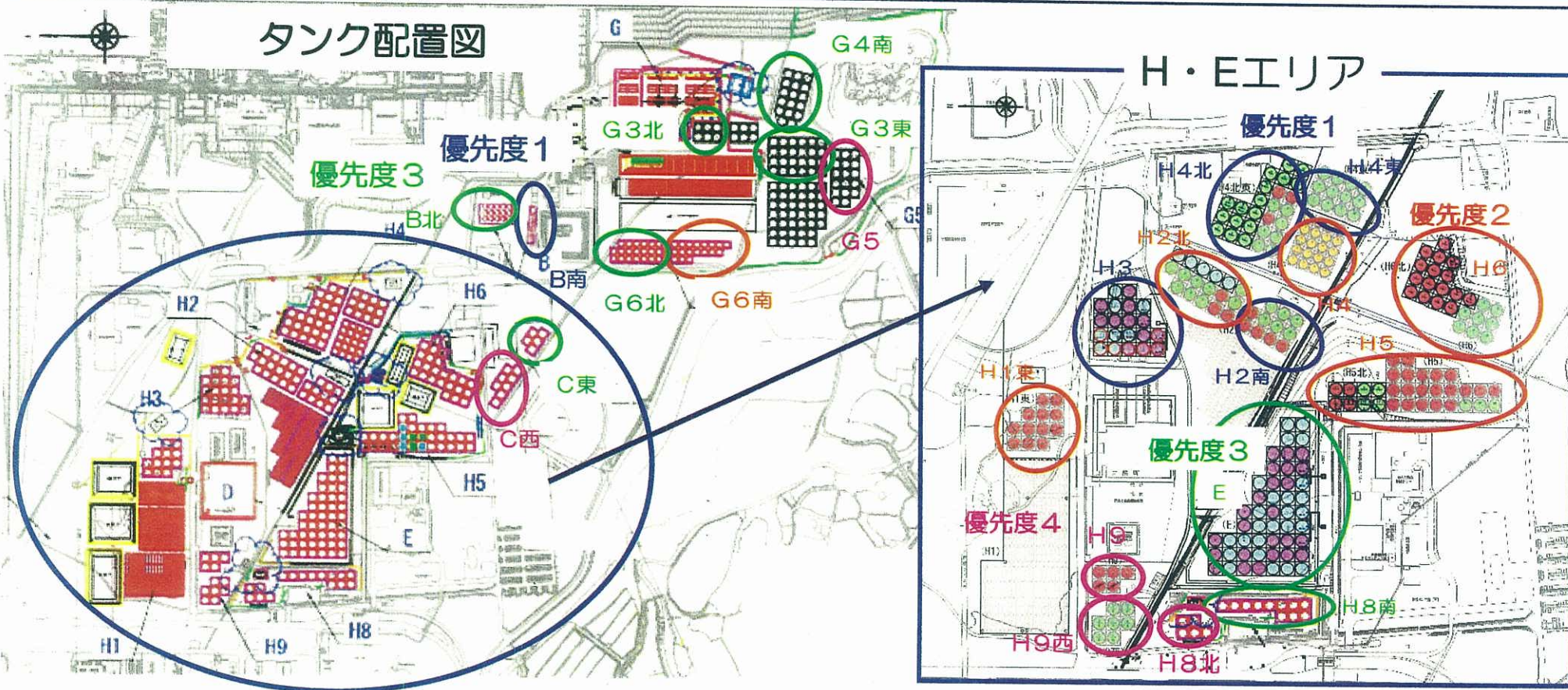
貯水タンクヤード雨水抑制対策 (雨樋設置工事の実施状況について)



1. 雨水抑制対策範囲と優先順位

優先順位の考え方

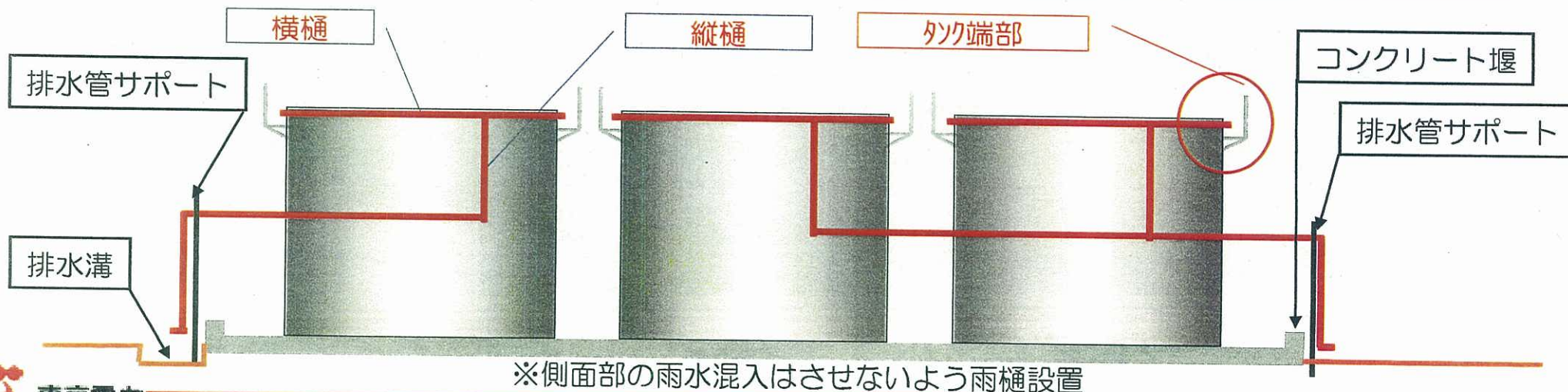
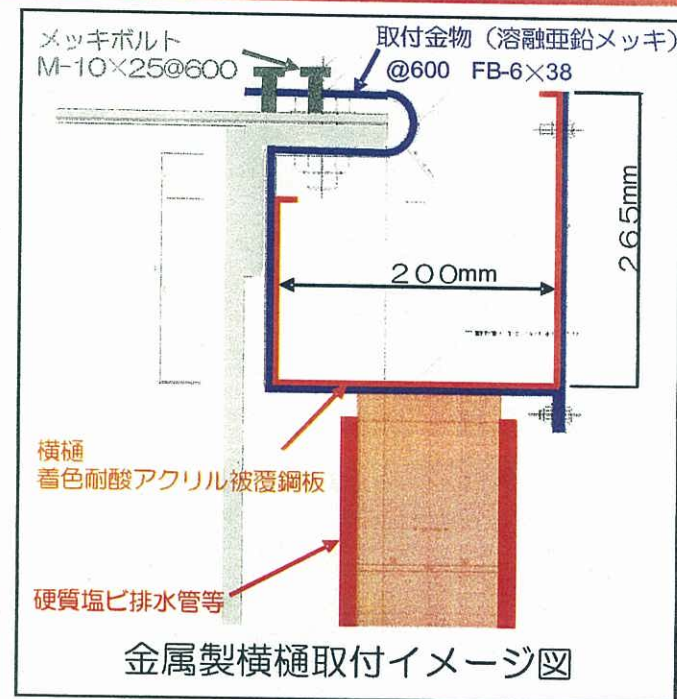
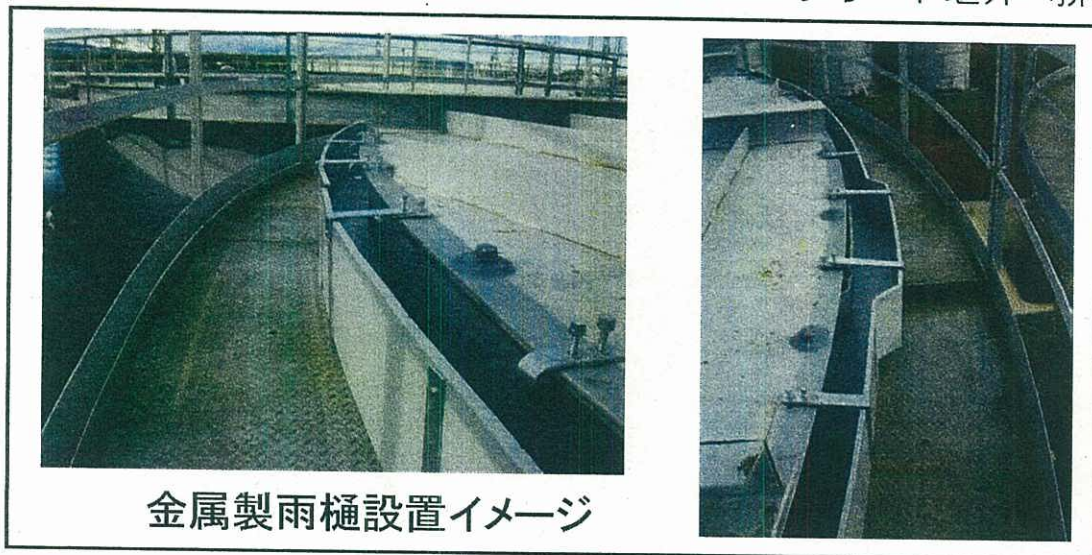
- ・ 汚染の比較的高いエリアから優先的に対策を実施する。
 - 優先度1：H4北・東、H2南、H3、B南
 - 優先度2：H1東、H2北、H4、H5、H6、G6南
 - 優先度3：E、C東、H8南、G3北、G3東、G4南、G6北
 - 優先度4：H9、H9西、C西、G5、H8北



2. 雨水抑制対策の方針

雨樋設置イメージ図

- ・タンク天端周囲に金属製の横樋を取り付ける。
- ・数基のタンク雨水を集合させ、排水管でコンクリート堰外へ排水する。



3. 雨樋モックアップ (H2南 11/28.29)



4. 具体的な雨水抑制対策イメージ

■使用材料・金物イメージ

⑤可とう性排水管



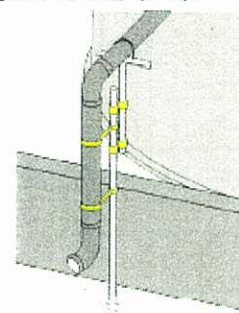
地震力によるタンクの水平・垂直移動に対して、タンク間への渡り排水管部や堰外への排水管接続部に「可とう性排水管」を使用することで変形追従性を確保する。

⑥水切り

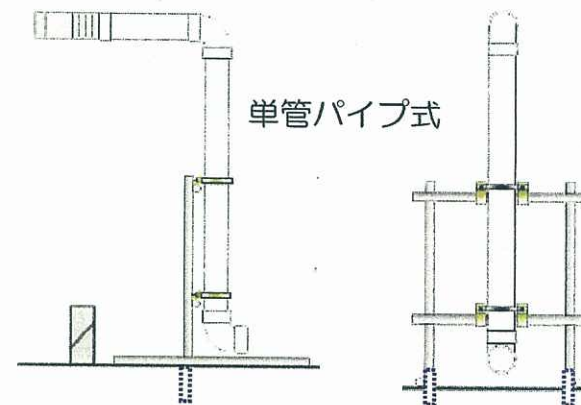


タンク本体の漏洩時においてタンク雨水排水管を伝い、漏洩するリスクに対して、横引き管部分に水切りなどの対策を行う。

⑦排水管サポート



ポール式



単管パイプ式

コンクリート堰外の周辺状況により排水管サポートのタイプを選択

